

■入れて！

【ねらいとする能力】

・自己のコントロール ・対人関係

目的

対人関係開始のポイントを知り、家庭での指導に役立てる。

○準備物
なし

○ワークショップ概略

(1)「仲間に声をかける時のポイント」を確認する。

*仲間に声をかける時のポイント…「①はっきり言う、②近づく、③相手を見る、④相手の気持ちにあわせる」

(2)自分の子どもの苦手なポイントを確認する。

○ワークショップの流れ

場面	教師の指示(★)と保護者の反応・行動(△)	留意点
説明	(場合によっては、事前に雰囲気作りをする。) ★ クラスの中には、声かけが苦手な子や声のかけ方が上手くないと思われる子がいます。そこで、今日は仲間に声をかける方法を学習しました。	
活動	★ ところで、みなさんは子どもの頃、遊びのグループに入れてもらいたい時どのように声をかけていましたか？ △ 入れて/混ぜて。 ★ 全国的には「入れて」や「混ぜて」と言うようですが、地域によって異なる言い方があります。他にどのような言い方があると思いますか？ △ よせて/わからない。 ★ 例えば、青森や秋田の東北地方や福岡や熊本九州地方の一部では「かでて」「かたして」「かたらせて」、また中四国地方や近畿地方では「よせて」を使います。このように様々な言い方がありますが、声かけのポイントは次の通りです。確認します。 *仲間に声をかける時のポイント…『“ハチ”の“あき”』 ①はっきり言う、②近(ちか)づく、③相手(あいて)を見る、④相手の気持ち(きもち)にあわせる ★ 自分のお子さんは、これらのポイントを使えていますか？ どのポイントが苦手ですか？ お子さんのことを思い出してご自身で考えてください。 △ 近づけていない/相手を見ていない/いつも小さな声で言っている。 ★ 学校では、遊びに加わる時、グループを作る時、困っている人を助ける時などの場面があります。学校外では、どのような場面がありますか？ △ スポーツ少年団や塾などの習い事に参加する時/同年代の親せきと話す時。	グループで話し合い、意見を交流する。
まとめ	★ 学校で子どもたちは、グループの輪に入る時の声かけを学習しました。これからも引き続き指導していきます。ご家庭でも、声をかける場面が多くありますので、学習したポイントに沿った指導をよろしくお願いします。	

ワークショップをするにあたって

ワークショップ後半の自分の子どもの苦手なポイントは、保護者の様子を見ながら、全体での発表の有無を決定するとよい。